

「デザイン保護のための基礎講座」開催報告



会場風景



第1部:満田重昭氏



第2部:青木博通氏



第3部:日高一樹氏

開催日 :平成 16 年 7 月 16 日(金) 10:00 ~ 17:00

会 場 :(財)商工会館 6F (東京都千代田区霞が関 3 - 4 - 2)

主 催 :(社)日本デザイン保護協会

1 講座の概要

当協会は、企業のデザイン開発部門や知的財産部門、特許事務所等でデザイン関連の実務を担当されている方々を対象に、「デザイン保護のための基礎講座」を開催しました。

本講座では、デザイン保護に係わる法律の基礎知識や、企業におけるデザインの知的財産管理について、各分野の第一線でご活躍中の3名の講師に講義を頂きました。

当日は、当協会の会員企業・特許事務所の知的財産担当者やデザイナーをはじめ、一般企業の担当者など48名が熱心に聴講されました。アンケートでは多くの方から「基礎知識を習得できた」、「自らの業務に有益であった」などの感想を頂き、盛況裡に終了しました。

2 講座(プログラム)の内容

第1部 (10:00 ~ 12:00) 「デザインと意匠法」
(満田重昭氏 / 千葉大学名誉教授・

(社)日本デザイン保護協会意匠研究会会長)

デザインを保護する最も有効な意匠登録制度の目的や枠組み、意匠登録の要件、意匠権取得の手続

き、意匠権の実現、意匠法上の特殊な仕組みなどについて講義がありました。

第2部 (13:00 ~ 15:00)

「デザインと不正競争防止法・著作権法・商標法」
(青木博通氏 / ユアサハラ法律特許事務所

パートナー 弁理士)

デザインに関係した不正競争防止法や著作権法・商標法上のトラブルが増えている現状を踏まえ、デザインを保護するこれら法制度の要点と、各法律がデザインをどこまで保護できるかについて、事例や判例をもとに講義がありました。

第3部 (15:15 ~ 17:00)

「デザインの知的財産管理と戦略」

(日高一樹氏 / 日高国際特許事務所代表 弁理士)

デザインを守り競争力のあるブランドをつくるための知的財産管理の重要性と、意匠権を中心としたデザインの知的財産権戦略について、デザイン開発プロセスに沿った実践的な内容で講義がありました。